

令和4年消防出初式を開催

1月9日、地域交流センター駐車場で、新春恒例の消防出初式を2年ぶりに開催しました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小しての開催となりましたが、消防団、職員をはじめ約500人が参加し、人員・姿勢・服装の点検や分列行進、消防ポンプ車による放水などを実施しました。

式を通じて、地域防災への決意も新たに士気の高揚を図るとともに、火災や災害のない明るい1年であることを願いました。



規律正しい分列行進の様子(上)・消防団長等による人員報告の様子(下)

令和4年新年賀詞交歓会を開催

1月12日、地域交流センターで、市と市商工会、JA常総ひかりの共催で新年賀詞交歓会を開催しました。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大により中止したため、2年ぶりの開催となりましたが、国会議員や県議会議員はじめ、各界の代表者ら224人が参加しました。神達市長は、挨拶の中で「関東・東北豪雨の水害から今年で7年

目を迎える。昨年は鬼怒川緊急プロジェクトにより600億円をかけ鬼怒川堤防の完成を見ることができた。本年は、来年の春に開業を迎える道の駅、民間集客施設に訪れる方々を食と農と商業とおもてなしで交流人口を増やす仕組みづくりをしっかりとやっていきたい」と述べました。

また、昨年と一昨年の叙勲・褒章の受章者の紹介や昨年、全日本柔道男子監督に就任した本市出身の鈴木桂治さんから監督就任の報告と今後の抱負を語っていただきました。



年頭のあいさつをする神達市長

防犯功労等で表彰

常総地区防犯協会石下支部長の中川智雄なかがわとしかずさんが、関東防犯協会連絡協議会の防犯功労者表彰を受賞しました。

中川さんは、防犯協会石下支部の役員として、児童の登下校時の立哨活動や会員の指導、看板作成など長年にわたり地域の防犯活動を推進していることが評価され表彰されました。



防犯功労者表彰を受賞した中川さん(右)

豊岡小学校「子どもを見守るボランティア会」が、茨城県防犯協会の地域安全ボランティア団体表彰を受賞しました。

同会は、児童の登下校時の立哨活動や通学路パトロールを実施しているほか、小学校や警察等と定期的に情報交換会を行うなど、地域一体となった見守り活動を展開していることが認められ表彰されました。



地域安全ボランティア団体表彰を受賞したボランティア会の皆さん

常総市防犯協会五箇・大生支部長の横島繁よこしましげさんが、茨城県防犯協会の地域安全功労者表彰を受賞しました。

横島さんは、防犯協会五箇・大生支部の支部長を長年務めており、青色防犯パトロール車の導入、高齢者宅へ防犯診断を実施するなど、地域に密着した活動を推進していることが評価され表彰されました。



地域安全功労者表彰を受賞した横島さん(右)

市民の森「千本桜プロジェクト」達成

市内北部の十一面山を管理している十一面山保全の会(吉原光夫会長)では、このほど桜の植樹1000本を達成しました。

同会では、平成15年に大量の不法投棄のごみを多くのボランティアの協力を得て撤去し、以後毎月1回の除草作業、倒木処理などを行いながら紅葉など5000本を植樹。その後、毎年桜の植樹を始め、昨年11月に最後の70本の桜を植樹し、長年の念願であった「千本桜プロジェクト」を達成しました。

吉原会長は「十一面山は、市から市民の森として指定を受け、今後多くの市民の憩いの場となり、また桜の名所になる活動を進めていきたい」と話していました。



千本桜プロジェクトを達成した十一面山保全の会の皆さん



関東漁業協同組合によるフナの稚魚放流

フナとウナギの稚魚を放流

関東漁業協同組合(石塚毅次郎組合長)は、9月にウナギの稚魚30kg、12月にフナの稚魚350kgの放流を、鬼怒川・小貝川・飯沼川で行いました。放流されたフナの稚魚たちは、冷たい水の中を流心に向かって元気に泳いで行きました。

同組合は、河川の大切な自然環境を守るために、密漁の監視活動や稚魚の放流などを定期的実施するほか、河川敷の清掃活動を行っています。石塚組合長は「河川で釣りなどをする場合は、組合が発行する遊漁券が必要です。遊漁料は稚魚の放流など魚を増やす活動に使われているので、券を購入して釣りを楽しんでほしい」と話していました。

スマートフォン教室を開催

市では、12月17日に「シニアのためのはじめてのスマートフォン教室」を石下庁舎で開催しました。

この教室は、デジタル機器の操作に不慣れな方へ、スマートフォンを活用して様々なサービスを受けられるようにするため、開催したものです。今回は、11月に市立図書館で行われた教室に続く2回目になり、いずれも、初めてスマートフォンに触れた方々が簡単に端末の扱い方を覚えられるなど、大変好評でした。

デジタル推進課の担当者は「今後も地域の情報格差の解消に向け取り組んでいきたい」と話していました。



スマートフォンの操作をする参加者の皆さん



バルーンアート作りを楽しむ参加者の皆さん

クリスマス会を開催

12月19日、市立図書館で2年ぶりにクリスマス会が開催され、多くの家族連れが参加して楽しんでいました。

1部のパネルシアターでは、ブラックシアター『サンタが町にやってくる』をはじめ息のあった演出でかわいい物語に、参加者の笑顔があふれていました。

2部のバルーンアートでは、風船を使って『リース付雪だるま』などを親子で上手に作っていました。

今年は、ちいさいおはなし会も行われ、より楽しめるクリスマス会になり、参加した親子は大変喜んでいました。

東京農業大学×常総市

市では、日本農業の最先端教育機関である東京農業大学と、農業の活性化に向けた包括連携協定を結んでおり、12月22日に同大学の学生・教員19人が参加して、当市の視察を行いました。

当日は、アグリサイエンスバレー事業地を中心に大型農家などを訪問し、当市の農業にじかに触れて学び、今後、地域農産物の6次産業化やブランド化などの調査研究を進めていきます。



道の駅予定地付近を視察する東農大の皆さん